



# 開町記念日を迎えて

八雲町長 岩村克詔



開町記念日の10月1日を迎えて、町民の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、平素から町政の推進に対し、深いご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

八雲町は、この恵まれた自然環境を背景に、農業と漁業を基幹産業とし発展して参りましたが、これらは数々の困難に打ち勝ってきた先駆者の尊い汗と懸命なる努力によって築かれた礎であり、先人の多くの功績に対し、改めて甚なる感謝と敬意を表したいと存じます。

私は、町長に就任して以来、農業、漁業の振興をはじめ、福祉、教育などの充実を図りながら「安心と活力ある八雲」の実現のため、その職務に全力を尽くしてまいりました。

急速に進む少子高齢化により、町財政をはじめ、経済・産業活動の縮小による地域経済への影響が懸念されており、また、人口減少による生産年齢人口の減少とともに高齢者人口の増加が見込まれることから、地方自治体の環境はますます厳しさを増しております。

特に、雇用の創出につながる産業の活性化や若者が安心して子育てができる環境の充実が重要であると考えておられ、そのための一歩といたしまして、道南初となる酪農研修牧場の運営主体となる農業法人「青年舎」が新函館農業協同組合、上八雲地区の酪農家、八雲町の共同出資により6月に設立をしたところでございます。

事する次世代の担い手をしっかりと育成するための取り組みを進めてまいりたいと考えております。

また、新たな取り組みであります、トラウトサーモン（ニジマス）の海面養殖につきましては、八雲町の特性であります日本海と太平洋の2つの海に面する環境を生かし、ひやま漁業協同組合熊石支所、落部漁業協同組合と連携し、養殖事業の実現に向けた取り組みを推進してまいりたいと考えております。

また、人口減少に歯止めをかけるための子育て支援策として、平成30年度から進めております学校給食費の無償化に続き、8月からは、高校生までの医療費の無料化を実施しており、少しでも若者の定住を進めてまいりたいと考えております。

ばならない多くの課題を抱えておりますが、先人、先輩の方々が築き上げてきた八雲町を、次の世代に夢のある、未来のある、「ふるさと」として引き継ぐため、町政に対す

る一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、町民皆さまのご健勝を祈念し、開町記念日にあたってのご挨拶といたします。

## 令和元年度八雲町表彰者

### 善行表彰(7名)

赤加	長野	若松	伊藤	越前谷	市木	政雄
あか	なが	わか	い	えちぜん	いち	まさ
あか	の	まつ	とう	や	き	お
どまり	の	ま	キ	ミ	政	雄
ツカヨ	ハキ	アキノ	ヨ	ツ	様	様
様	様	様	様	様	(栄町)	(栄町)
(熊石平町)	(本町)	(山崎)	(三杉町)	(熊石西浜町)		
白寿	白寿	白寿	白寿	白寿	白寿	白寿

